

聖徳大学短期大学部

発行 聖徳大学短期大学部  
総合文化学科  
住所 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550  
TEL 047-365-1111 (大代表)  
http://www.seitoku.jp/daigaku/  
gakka/sougoubunka.html

# BISOCIE

Become Independent in Society (社会的自立)

2021年1月25日 NO.13-G-I

グループ名

国際観光・ホテル 図書館司書・IT

主な内容

岩瀬文化祭への参加

## 岩瀬自治会との交流

～明るく楽しいみんなの岩瀬～

### 岩瀬自治会との関わり

聖徳大学と岩瀬自治会との関わりは、つい最近始まったばかりだ。二〇一四年、よさこいソーラン踊りを学内のサークルが岩瀬まつりで披露したことがきっかけとなり、続いて総合文化学科の地域貢献活動が各種イベントに関わることとなった。

二〇一九年度は、三月末の「岩瀬さくら祭り」から始まり、八月の「ラストサマーフェス」、九月の「岩瀬まつり」、十一月の「岩瀬文化祭」へと続いた。昨年度の九月に行われた岩瀬まつりでは、お手伝いとして主にかき氷や飲み物の提供、また、手作りの枝豆クッキーの販売も行っている。



11月6日(金)岩瀬自治会神田正昭会長の講演  
自治会活動に関する説明を受ける。

### コロナ禍での岩瀬文化祭

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのイベントが中止となったが、岩瀬文化祭は感染症対策の上、開催となった。コロナウイルスへの感染対策としては、自治会の方のご指示により、すべての来場者の検温、アルコール消毒、記帳への誘導、換気の継続などを行った。

私たちは、十一月十五日の会場設営と十八日の展示品搬入のお手伝い、開催期間中の十九日・二十一日に来場者対応として参加させていただいた。厳しい情勢の中、開催を決定された自治会に感謝したい。

設営当日及び開催期間中、会館に隣接する住吉公園の清掃もした。期間中の主な仕事は、南房絵本製作グループが昨年制作した絵本の説明をするともに、気に入った絵本は持ち帰っていただき、絵本を題材として作成したステッカーも配布した。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、五日間でのべ百三十三人、一日平均二十六人と来場者は少なかったが、二十一日には子供会がトムテを作る会を催したため、来場者が一気に増えた。



岩瀬文化祭準備の様子



岩瀬住吉公園の清掃活動



会場の様子



昨年8月末に行われたラストサマーフェス  
岩瀬自治会の屋台販売をお手伝い

### トムテ作り

二十一日に催された「トムテを作る会」に学生たちも参加し、トムテ作りを行った。この会をきっかけに、文化祭来場者が子供を中心に増加した。トムテとは、スウェーデンの伝説に登場する家の守り神であり、切り取った樺(けやき)の木に帽子や目鼻を張り付け、ヒゲをはやしたものである。この作品作りには、自治会館に住むロシア人のマリアさんも手伝ってくださった。



トムテ作りに挑戦



参加した学生の作品

マリアさんのトムテと絵などの作品  
マリアさんは、野生の蚕も飼っている。  
餌の桑の葉は近所の方が提供してくれる  
そうだ。



### ステッカー作成

展示されている絵本に関連したステッカーを作成し、岩瀬文化祭来場者には、気に入ったものを自由に持ち帰っていただいた。  
絵本の題材をステッカー台紙に印刷し、上からフィルムを貼る工程が難しく、何度か失敗した。



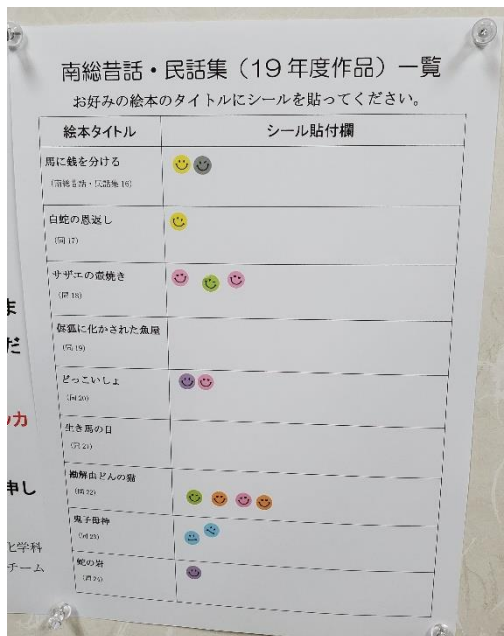
天狗

# 絵本展示

開催期間中、南房総市の昔話を対象としてお気に入りの絵本にシールを貼っていただくアンケートを用意した。だが、来場者が高齢者に偏ったこともあり、あまり効果がないと判断し、途中から自由に持ち帰っていただく方法に切り替えた。「おやさいおいしい」「二十世紀梨の誕生」「やぎりくんとあじさいくん」の三点は、松戸市の名産品・野菜を題材としたものであったため、身近に感じられたようで、他よりも多くお持ち帰りいただいた。自治会の方からは、市販の物より手作りの味があつて孫が喜ぶというご感想もいただくことができ、おおむね好評であった。



南房総市の昔話絵本、松戸の名産品・野菜の絵本を展示



絵本アンケート用紙

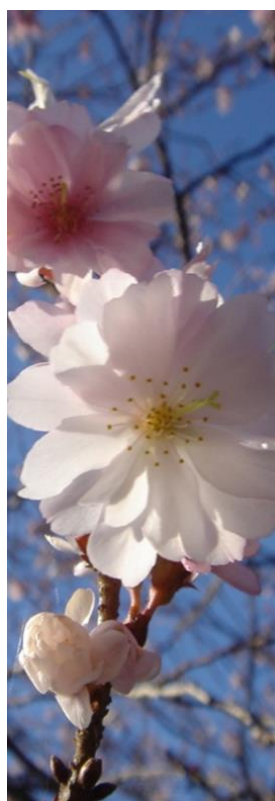


自分たちの作成した絵本について来場者に説明する参加学生。

昨年度制作した絵本は9点。南房総市の図書館を始め、幼稚園・保育所等で子供たちの目に触れている。

タイトル	持ち帰り数	タイトル	持ち帰り数
馬に銭を分ける	0	鬼子母神	3
白蛇の恩返し	1	蛇の岩	5
サザエの壺焼き	4	おやさいおいしい※	1
俣狐に化かされた魚屋	2	二十世紀梨の誕生※	5
どっこいしょ	2	やぎりくんとあじさいくん※	5
生き馬の目	2	うみぼうず(大型絵本)	0
勘解由どんの猫	1	生き馬の目(大型絵本)	1

絵本は全12点、各5部ずつ用意。その他、大型絵本(紙芝居)2点を併せて展示した。上の表は来場者が持ち帰った数。



イベントで配布する葉やシールの案



二月二十四日〜三月七日に岩瀬自治会館で行われる「ひな人形の展示」、三月末に岩瀬住吉公園で開催される「岩瀬さくら祭り」に向けて、また次年度以降のイベント参加を見越して、シールのデザインは、ひな祭り・さくら・トムテなど、また子ども会用に入学・進級祝いモチーフとした。

## シール・葉の作成



ひな人形展示に配布するシール案



## 今後の予定

今年度参加を予定している活動  
 ・二月十三日 岩瀬住吉公園の清掃活動  
 ・二月二十四日〜三月七日 岩瀬自治会館のひな人形の展示  
 ・三月末 岩瀬さくら祭り  
 しかし、緊急事態宣言が発出され、自治会館も現在使用中となつている。また、周辺自治会は春のイベント中止を決めているそうであり、岩瀬さくら祭り開催の見込みは立っていない。

## 今後の課題

次のような意見が出た。  
 ・看板が分かりにくいところがあったのでもう少し分かりやすい場所に置いた方が目に留まりやすいのではないかと。  
 ・外に展示しても良いと思う。  
 ・もっと自分たちの作品を出して、自分たちも、より松戸に貢献しているという意思を伝えればよかったと思った。  
 ・展示会には書道やアクセサリーも飾ってあったので、ステッカーにとどまらず、幅広い年代に気に入ってもらえる物を用意したらよい。

## 編集後記



昨年の岩瀬さくら祭りの様子  
また開催されますように

岩瀬自治会は、他の地域と比べても、地域の活動に力を入れている自治会だと思った。多くのイベント活動をしていることや、コロナ禍での「岩瀬文化祭」開催を決定されたことに強い思いを感じた。また、イベントに携わり、私は現場に向くことができなかつたため、今後参加したいと思った。今後、後輩にも、長く活動を引き継いでいってほしいと考える。(石毛)

コロナが流行り、イベントが中止になってしまふ事が多くて残念である。  
 しかし、この事から「どのような活動をして貢献出来るのか」が学べたので、それについては良かったと思う。(熊谷)